

公表:令和 6年 3月27日

事業所名 富士見市立みずほ学園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	1	1	・ホールでのみずほ体操は全員が出ると少し狭くなるため、出番を次にするなど工夫している。	・機能訓練があるとホールが使えなくなってしまうため、クラスの取り組みについて計画的に考えていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	16	0	0		・今の人数は適切だが、他機関との連携を考えると指導の工夫が必要。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14		2	・子ども達にわかりやすいように、視界に入る所に視覚支援のカードを示している。 ・個人のロッカーにシールを付けるなどしてわかりやすくしている。 ・必要な時にはおもちゃの棚に目隠しをするなどの配慮をしている。 ・子どもによって滑り止めのついた椅子を使用し、姿勢の安定を図っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1	2	・毎朝全職員で掃除を行い、床なども清潔にしている。おもちゃも消毒液や日光消毒で清潔にしている。 ・設計段階から園児の活動に配慮された工夫がされ、児童が心地よく安全に過ごせる空間になっている。	・冬場は園児用トイレが寒いので、寒さ対策を工夫していく。 ・清潔にはしているが、時々害虫が出るため、引き続き委託業者による駆除を実施していく。 ・建物の裏側については、引き続き職員による草刈を実施し、専門的技術が必要な箇所は業者委託を実施する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	2	3	・毎日の反省会、年2回の全体反省を行っている。	・時短勤務の職員もいて全職員での会議に参加するのが難しいため、クラス会議等で参画してもらうなどの工夫が必要。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	1	1	・保護者向けアンケート結果は全職員が回覧し、必要なことを検討して次年度の指導に活かしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	1	2		・ホームページの情報は、定期的に更新していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	2	3		

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16	0	0	・会計年度任用職員も含め、全職員が研修の機会を得られるようにしている。 ・研修に参加した職員からの報告会を設け、他の職員も学べるようにしている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15	0	1		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	5	・独自の評価表を使い、個別支援計画作成の際に活用している。	・標準化されたアセスメントツールの活用を検討していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	2	2		・現在の書式は各項目に分かれていないため、書式の見直しについて検討していく。 ・併用通園以外の子どもの場合、地域支援について示していないことが多いため、状況に応じて検討していく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	1		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	16	0	0	・毎週クラス会議で確認している。 ・クラス会議、カリキュラム担当ごとに話し合いを持っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	0	0	・毎週クラス会議で確認している。 ・併用児もいるので固定化しないよう日課を工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	13	0	3		・子どもの課題に合わせた縦割りの活動も検討・実施していく必要がある。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	1	0	・出勤時間の違いやバス添乗等で連絡がスムーズにいかない面があるが、できる限り意思疎通を図るようにしている。 ・時間がないため短時間で要点を抑えて確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16	0	0	・気づいた点や疑問点はその日のうちに共有している。 ・クラス会議で振り返りを行い、意見交換している。 ・時短でその日のうちに振り返りが難しい職員については週1回のクラス会議で確認している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	0	1	・毎日ケース記録をとっている。	・記録を取っているが、振り返りの時に活用できるよう、よりわかりやすく記入する。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	16	0	0	・クラス会議で支援計画の内容について見直している。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	0	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	1	2		・関係機関から情報がないままの子どもも稀にいて連携の難しさを感じることもあるため、情報共有や連携を密にしている。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	1	1	・保健師、看護師を中心にして関係機関との連携を図っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	1	1	・保健師、看護師を中心にして医療機関との連携を図っている。	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	16	0	0		
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	1	0	・年に1回、市内の特別支援学校と情報交換会を実施している。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	2	1	・相互に見学や訪問を行い、情報交換を行っている。	・一部の事業所とは連携しているが、必要に応じて他の事業所とも連携を図っていく。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	0	0	・定期的な交流を実施している。	・保育所や幼稚園との交流は園児が少ない水曜日もあり、経験できない子もいた。今後は柔軟に曜日を設定する。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	2	2		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16	0	0	・できただけではなく、過程や変化、その子の強みを伝えるようにしている。 ・子どもの良いところを伝えるようにしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	2	4	・プログラムは実施していないが、保護者向けの講演会、先輩保護者との懇談会などを通して保護者支援を行っている。	・今後、ペアレントプログラムの実施を検討していく。
関係機関や保護者との連携	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	1	1	・入園時に管理職から説明を行っている。	
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	1	1		
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	1	0	・直接会えない場合も、連絡帳や電話などでコミュニケーションを取っている。 ・保護者が来園した際には、連絡帳で報告を受けていたことについて深掘して聞くようにしている。	・発信が少ない家庭は面談時や来園した時にしか話をする機会がないため、園の方から積極的に働きかけていく。 ・細目に連絡を取り保護者と共に考えているが、園側の考えが伝わりきれいなことも多いと感じるため、より分かりやすく丁寧な話を心がけていく。

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	1	1		・協力している部分もあるが、父母会の活動は保護者に任せているところが大きいので、状況に応じた支援を行っていく。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	1	0	・直接会えない場合も、連絡帳や電話など利用し、できる限り迅速に対応するようにしている。	
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1	0	・年間予定表、月の予定表の他、定期的にクラスだより、園だよりを発行している。	
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意しているか	15	0	1	・ケースファイルは鍵付きのロッカーで保管している。	
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	0	0		
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	8		・コロナの影響で中断したものが現在まで続いているため、状況を見ながら地域住民との交流を図っていききたい。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	1	1	・年度初めに全職員で確認している。	実技については一部できていない訓練もあるため、今後実施していく。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0	0	・毎月避難訓練を実施している。	
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	16	0	0	・てんかんについては一覧表を作り確認している。 ・予防接種、服薬等を記入した健康カードは、変更がないか毎年保護者に確認している。	
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	15	1	0		
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	1	0	・毎日の反省会の中で必ず報告し、対応を協議。記録のファイルは皆が閲覧できる所に保管している。	
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	0	0		
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	3	0		・現状では事例はないが、必要な状況になった際は組織的に検討し、適切に対応していく。